

医学科6年 Yさん

実習科：内科

静岡医療センターでの HMEP 実習を終えて

2021年5月から2ヶ月間静岡医療センターでHMEPの内科実習に参加させて頂きました。この2ヶ月を一言で表現すると“とっても充実していた”ということに尽きます。HMEPの2ヶ月の実習は私にとって今後医師として生きていく上での最初の手ほどきをしてくれるものでした。英語の学習に例えるとアルファベットを大学の座学で学び、入門の文法をHMEP実習で知ったようなものではないでしょうか。医学生としての私は実習前と実習後ではまるで別人のように感じます。

内科では入院（あるいは救急での初診）から退院まで常時二人ほどを担当させて頂き、H&Pの大切さを学びました。鑑別を考えながらも丁寧に history taking をすること、どの所見を特に取りたいかを考えながら physical exam をすること、この二つでかなり鑑別が絞れることを担当させて頂いた患者さんから教えて頂きました。朝の内科カンファでの毎朝のプレゼン（full presentation/ short presentation とともに）を繰り返すことでプレゼンのポイントを掴めるようになりましたし、その後の回診では私の physical exam で足りなかったところを教えていただいたり様々な患者さんの身体所見を実際に見て・聴かせて頂きました。HMEP実習の責任者かつ救急科責任者である大屋先生が週に数回主催して下さっている救急カンファでは鑑別を挙げ問診・検査を考えることを繰り返すことで、大学の座学で学んだだけの時はあやふやであった医学知識が自分の中に定着してきていることを感じる事ができました。何よりも先生が臨場感を持ちながら教えて下さるので知識が入ってきやすかったのだと思います。

私は内科実習を希望して実習をはじめたのですが、実習から2週間ほどすると余裕ができ、救急も見てみたくなり、日中に加え輪番日の当直帯（土日）もできるだけ入らせて頂きました。救急の現場に身を置くことで多くの疾患を学ことができ、限られた時間の中で先生方が問診・診察・検査をして診断に至るプロセスを側で見たり問診をさせて頂くことで医学知識がどんどん生きたものになっていくのを感じられましたし、搬送されてきた患者さんを一目見てどれだけ緊急性があるか判断するトレーニングにもなりました。

また、HMEPの実習の魅力はカンファレンスやレクチャーの豊富さにもありました。ほぼ毎日ある内科カンファと救急カンファに加え、physical exam で高名な先生のカンファや放射線カンファ、ハワイで家庭医療医をしておられた先生の家庭医療レクチャー、有名な外国人講師による international conference まで学ぶ機会が豊富に用意されており、更にどのカ

ソファレンスもオープンで質問を喜んで受け入れて下さる土壌がありました。担当させて頂いている患者さんの症状や経過で分からなかったことを質問もできましたし、international conference では医療英語が分からなかったら日本語を混ぜて発言し、とても勉強になるとともに楽しい時間でした。元 UCLA 外科教授である Dr. Alan の口頭諮問を受けさせて頂いたのはとても良い経験になりましたし自信にもつながりました。また、Dr. Branch の bedside teaching は身体所見の大切さと奥深さを知る機会となりました。

この2ヶ月を振り返ってひしひしと感じることは、HMEP の最大の魅力は静岡医療センターで HMEP 実習を担当して下さっている「先生方」であるということです。どの先生方も臨床能力はもちろんのこと、熱意とアメリカを目指すという将来の展望があり、ご自身の知識や経験をどんどん学生へ教えていこうとして下さる方ばかりでした。私は疑問が次から次に湧き上がるタイプなのですがいつ質問してもいつも応えて下さり、質問をすると資料をすぐに渡して下さったり、ご好意で抗菌薬の使い方や画像・心エコーの読み方等をレクチャーして頂いたこともありました。また、私が書いたカルテの feedback が欲しいと願いますと時間を作って下さって指導して下さいたり、身体所見で十分に理解できなかったところがあると一緒にベッドサイドまで行って教えて下さることも一度ではありませんでした。救急の場でも忙しい合間をぬって教えて下さったり、英語のカルテの書き方も知りたいというとすぐに教えて下さったり等々、先生方からして頂いたことは到底書ききれません。

医師として歩き始める前に最初に学んだ場所が SMC での HMEP 実習でよかったと心から思っています。そこでの先生方の practice を医師としての最初の standard として学べたことは、今後私が研修医として働き始める上で大きな糧になると感じています。また、この2ヶ月の実習で医学の考え方・動き方の基本を教えて下さったからこそ、私の医師としての今後の発展はどうすれば可能になるか、そのためには初期研修の時にはどう行動すれば良いのかということもある程度分かるようになりました。最後になりましたが高知大学医学部学生課をはじめ、高知大学から HMEP 実習への派遣を可能にして下さった高知大学の全ての関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。心からお勧めできるプログラムですので、後輩の方達が続いて下さることを願っております。

追記：HMEP 実習は実践力と思考力が身に付くととてもいい研修でしたので、高知大学の後輩の方々にもぜひお勧めしたいです。大学と扱う疾患が異なりますし、数人の患者さんを担当し責任を持って毎朝自分で回診を行うことで基礎的な医学の力が総合的につく実感しています。そのため、もっと医学的な力をつけたいという意欲的な人に特におすすめのプログラムです。また、1ヶ月よりは2ヶ月間実習した方が、力が定着するように思います。

今後の実習生へのアドバイス 実習・学習面

実習の間は朝から晩まであらゆるところに学べること/学ぶべきことが豊富に存在しているので、できるだけ積極的にその知識を自分から獲得しに行くことが成長への道なのではないでしょうか。以下に1日の流れを振り返って具体的に述べさせていただきます。

- ① 朝一で身体所見を取りに行く：朝の内科カンファレンス前に担当させて頂いている患者さんの身体所見を取りに行きますが、それぞれの患者さんの problem を考えて取るべき身体所見を取りに行くことを意識しながら毎日毎日行うことで身体所見の型が身につきました。また、出来れば毎日同じ時間に顔を見に行くことが大事だとも感じました。
- ② 朝の内科カンファレンス：内科が担当している全ての患者さんのプレゼンがあります。その際には先生方のプレゼンの方法（イントロの言い方から始まりや伝えるべき情報の取捨選択や抗菌薬の選択等）を聞き、自分のプレゼンで足りないところを真似したり、初めて聞く医学知識が出てくればメモをして後で調べ、画像所見で異常が分からなければ後で自分で画像とレポートを付き合わせて答え合わせする等ですごく力がつくように思います。また、私のプレゼンで足りないところを先生方が feedback して下さるので積極的に教えて頂くようにすれば同じ間違いをしなくなるようになります。
- ③ カンファ後の回診：先生方の身体所見の取り方を見ながら私に足りなかったところを確かめたり、自分の担当以外の患者さんも毎日様子を見せて頂くことで色々な疾患と回復過程について学ぶ機会になると思います。
- ④ カルテの記載：毎日カルテを記載することで型が身につきました。また、記載したカルテを先生方に見ていただき feedback を頂く中で病態生理から鑑別や検査まで私に足りない部分を知りました。その後で自分で再び調べることで医学知識が広がり定着していくと思います。
- ⑤ 担当している患者さんについて：一人の患者さんには大抵複数の problem list があります。それら一つ一つを考え、かつ相互関係を考えることで医学知識が蓄積されていきました。また、薬や輸液については、HMEP 実習前はいまいちイメージがつきにくかったのですが、担当患者さんの入院中の薬（内服、点滴静注ともに）や輸液の投与量・投与速度もカルテでチェックすることで薬に対する苦手意識も払拭されていくのでお勧めです。
- ⑥ 救急カンファレンス：担当の先生が週2~3回朝に教えて下さいます。学生・初期研修医が見学・担当した救急の患者さんについてプレゼンし、参加者が鑑別・問診・検査等を考えていきます。最初は鑑別を考えることも難しいかもしれませんが1週間もすれば慣れると思います。新しい知識をたくさん教えていただけるのでメモ用紙はいつも携帯し、分からないところはその場で質問し知識を吸収するようにすればいいのではないのでしょうか。何より自分でプレゼンすることで力がつくので積極的にされるのが良いかと思えます。私は救急の本を一冊携帯し、カンファ中のメモを後でその本に全て書き込むようにしていました。

- ⑦ その他のカンファレンス:どのカンファレンスも本当に勉強になるので楽しみながら参加して積極的に質問したり、講義してほしいテーマがあれば先生方に伝えれば叶えてくださいます。international conference は 英語ということでやや怖気付く人もいますがどの先生も優しく、発言しようとする人に対してとても welcome に接して下さいますので英語がわからなければ日本語を混ぜても発言することをお勧めします。
- ⑧ 学生側の希望を最大限に叶えようとして下さる先生方が揃っていますので HMEP の方で用意して下さっている実習以外にやってみたいことがあれば希望をぜひ相談されると良いと思います。